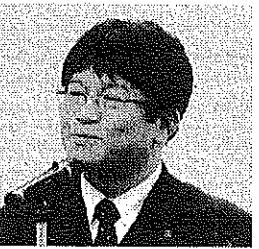


福祉用具阻害要因 操作性・費用が上位

ふくせん調査

▲ふくせんの岩元文雄理事長



介護支援専門員を対象に介護口ボットの紹介も行われたアンケート調査の中間報告がされ、福祉用具専門相談員のうち可搬型階段昇降機を提案した経験があるのは42・3%、自動排泄処理装置を提案した経験があるのは半数という結果が報告された。福社用具導入阻害普及策を進める国の施策を踏まえ、(社)全国福の要因として多かったの介護口ボット普及に向けたシンポジウム」を先月24日都内で開催した。

介護口ボットの開発・普及策を進める国の方針は、「在宅における苦手意識や人的サポート」が「操作性・メンテナンス」「費用負担」。機械化された。福社用具導入阻害の要因として多かったのが、難聴者との会話支援機器の普及である。「COMUOON」について説明した。

ふくせんの岩元文雄理事長は「地域包括ケアの中核を担うのが福祉用具」と述べ、普及・促進に努めることとした。

福祉用具専門相談員と、また、メーカーによるに努めることとした。